Creative Enzymes®

ネイティブボバインプロテアーゼ

Cat. No. NATE-0628

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	プロテアーゼ（ペプチダーゼまたはプロテイナーゼとも呼ばれる）は、プロテオリシスを行う酵素であり、すなわちポリペプチド鎖内のアミノ酸を結びつけるペプチド結合の加水分解によってタンパク質の分解を開始します。プロテアーゼは何度も進化しており、異なるクラスのプロテアーゼは、全く異なる触媒メカニズムによって同じ反□を行うことができます。プロテアーゼは動物、植物、細菌、古細菌、ウイルスに存在します。
用途	プロテアーゼは、ペプチド結合を加水分解することによってタンパク質を分解するために使用される酵素です。プロテアーゼは、タンパク質を分解するため、プロテアーゼ阻害剤を研究するため、そして熱的不活性化動力学を研究するために使用されます。この製品は牛の膵臓から得られています。牛の膵臓からのプロテアーゼ（タイプI）は、ヘミセルロースの抽出に使用されています。
別名	プロテアーゼ; ペプチダーゼ; プロテイナーゼ; 9001-92-7

製品情報

種	ウシ
由来	牛膵臓
***CAS*登□番号**	9001-92-7
活性	> 5 ユニット/mg 固体
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、37°Cで、カゼインを加水分解して、1分あたり1.0 µmole（181 µg）のチロシンに相当する色を生成します（Folin-Ciocalteu試□による色）。特に指示がない限り。

保管・発送情報

保存方法	−20°C